

# 1 えひめの環境の概要

## (1) 愛媛県の概況

### (地勢)

愛媛県は、県を東西に横断する中央構造線を境として北側には瀬戸内海に面した平野が広がり、南側には四国の脊梁をなす四国山地や雄大な四国カルストが広がっている。

また、西日本一の標高を誇る石鎚山(1,982m)をはじめ多くの険しい山々や盆地が多数あり、全体的に山地の多い地形となっている。

一方、瀬戸内海、宇和海には大小 200 余の島々が散在し、海、山両面の自然に恵まれた地形となっている。

県の総面積は 5,677km<sup>2</sup> で国土の 1.5% を占め、全国第 25 位の広さとなっている。

海岸線は、1,633km にも及び、全国第 5 位にランクされており、日本の海岸線の約 5%、四国の約 48% の長さとなっている。県東部から中部にかけての瀬戸内海沿岸は、遠浅の砂浜海岸が続き、佐田岬半島から南の宇和海沿岸は入り江の多いリアス式海岸となっている。

### (気候)

愛媛県の北に広がる瀬戸内海は、南北に四国山地と中国山地、東西に本州・九州で囲まれており、瀬戸内海沿岸地域は、夏冬の季節風に対し常に山地の風下側に当たるため、降水量が少なく(年降水量 1,281~1,690mm)、比較的温暖な(年平均気温 16 前後)半海洋・半内陸性の瀬戸内気候となっている。

一方、県南西部の宇和海沿岸地域や山間部は、瀬戸内海側と異なり、降水量も比較的多く(1,940~2,733mm)、冬には積雪もあり、この雨や雪は、降水量の少ない瀬戸内海沿岸地域にとっては貴重な水資源となっている。

### (人口)

平成 17 年国勢調査によると、総人口は 146 万 7,815 人(男 691,677 人、女 776,138 人)で、日本の総人口の 1.15% を占め全国第 27 位、四国では第 1 位となっている。

### (産業等)

事業所数(平成 18 年 10 月 1 日時点)は 71,594 店、就業者数(平成 18 年 10 月 1 日時点)は 60 万 9,667 人、県内総生産(平成 18 年度)は 4 兆 9,547 億円となっている。

従業者 4 人以上の工業事業所数(平成 18 年 12 月 31 日時点)は 2,808 事業所、従業者数は 8 万 2,800 人、製造品出荷額等は 3 兆 7,382.1 億円(全国シェア 1.2%、第 26 位)となっている。

商業事業所数(平成 16 年 6 月 1 日時点)は 22,028 店、従業者数は 12 万 8,642 人、商品年間販売額は 3 兆 8,035 億円(全国シェア 0.71%、第 27 位)となっている。

農業産出額(平成 18 年)は 1,300 億円(全国シェア 1.5%、第 24 位)、果実生産額(平成 17 年)は 466 億円(全国シェア 6.0%、第 5 位)となっている。

県内の林野面積(平成 17 年 2 月 1 日時点)は 400 千 ha(全国シェア 1.61%、第 23 位)となっている。

海面漁業・養殖業の生産量(平成 18 年)は 16 万 7,104 t (全国シェア 3.0%、第 10 位)となっている。

また、県内の自動車保有台数(平成 19 年 3 月 31 日時点)は 100 万 7,909 台(全国シェア 1.27%、第 26 位)となっている。

出典：平成 20 年度 愛媛県環境白書【抜粋】